


TOTO

静音ワンピース便器（床排水）

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）



施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。	 必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--

注意

 禁止	<p>陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 水が噴き出します。</p>
 必ず実行	<p>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。</p> <p>設置工事は、この説明書に従って確実にを行う 故障や水漏れの原因になります。</p>

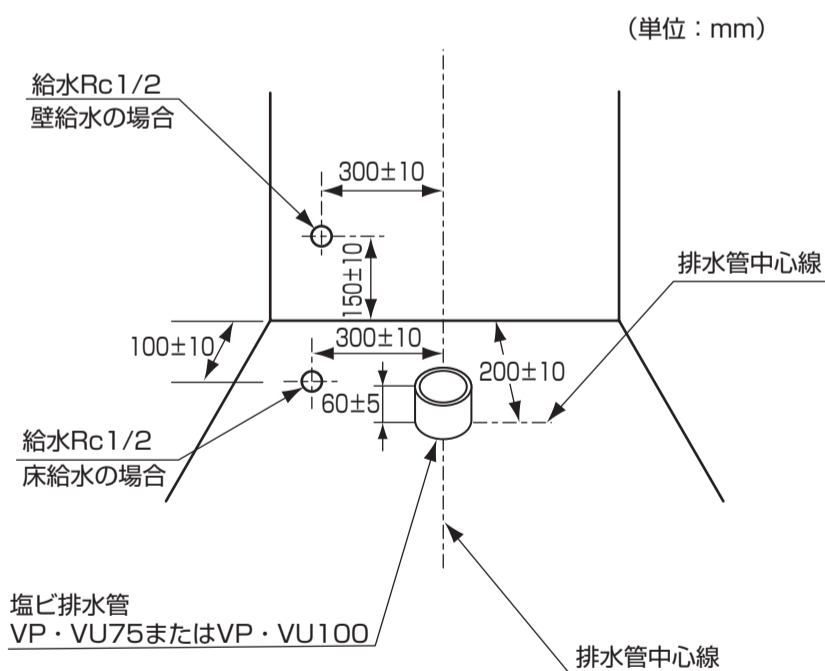
同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体	排水ソケット	その他
 (1個)	 (1個)	本紙 施工説明書 (1枚) 取扱説明書 (1冊) 位置決めシート (1枚)
タンクふた	止水栓	
 (1個)	 (1個)	
固定片・固定金具類		
<固定片A用>  (2個) 固定片A (2個)  (4本) 木ねじ (φ6×50:4本)  (4枚) ワッシャー (4枚)	<固定片B用>  (1個) 固定片B (1個)  (2本) 木ねじ (φ6×40:2本)  (1個) 接着ブロック (1個) 接着ブロック注意書 (1枚) <small>※クラフト紙に印刷しており、接着ブロックを包んでいます。</small>	 (2本) 皿木ねじ (φ5.8×63:2本)  (2個) 化粧キャップ (2個)  (4本) 木ねじ (排水ソケット用) (φ6×60:4本) <small>※排水ソケット用木ねじは、3本しか使用しません。</small>

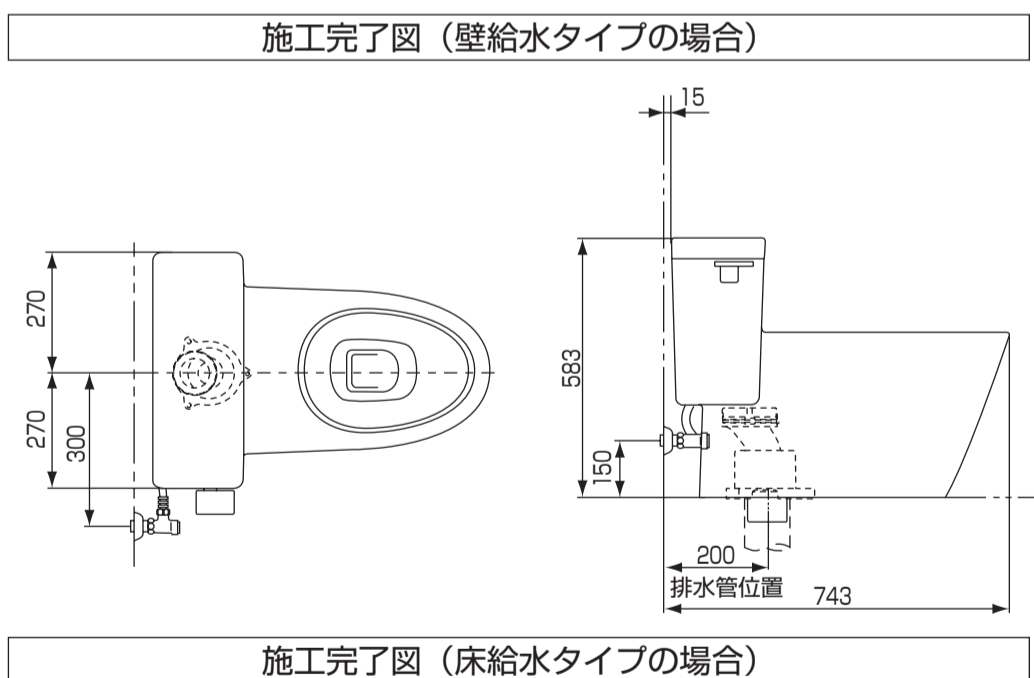
取り付け前のご注意

■施工前に、給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置にあることを確認する。



商品セット図

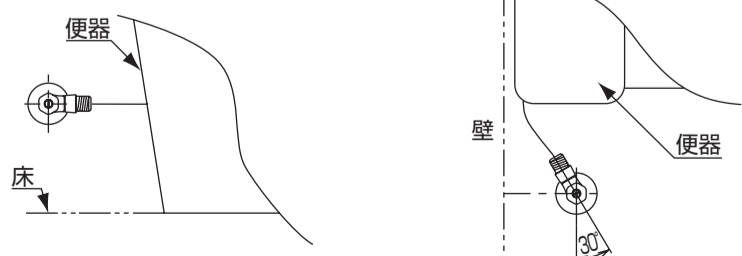
(単位: mm)



止水栓の取り付け方向

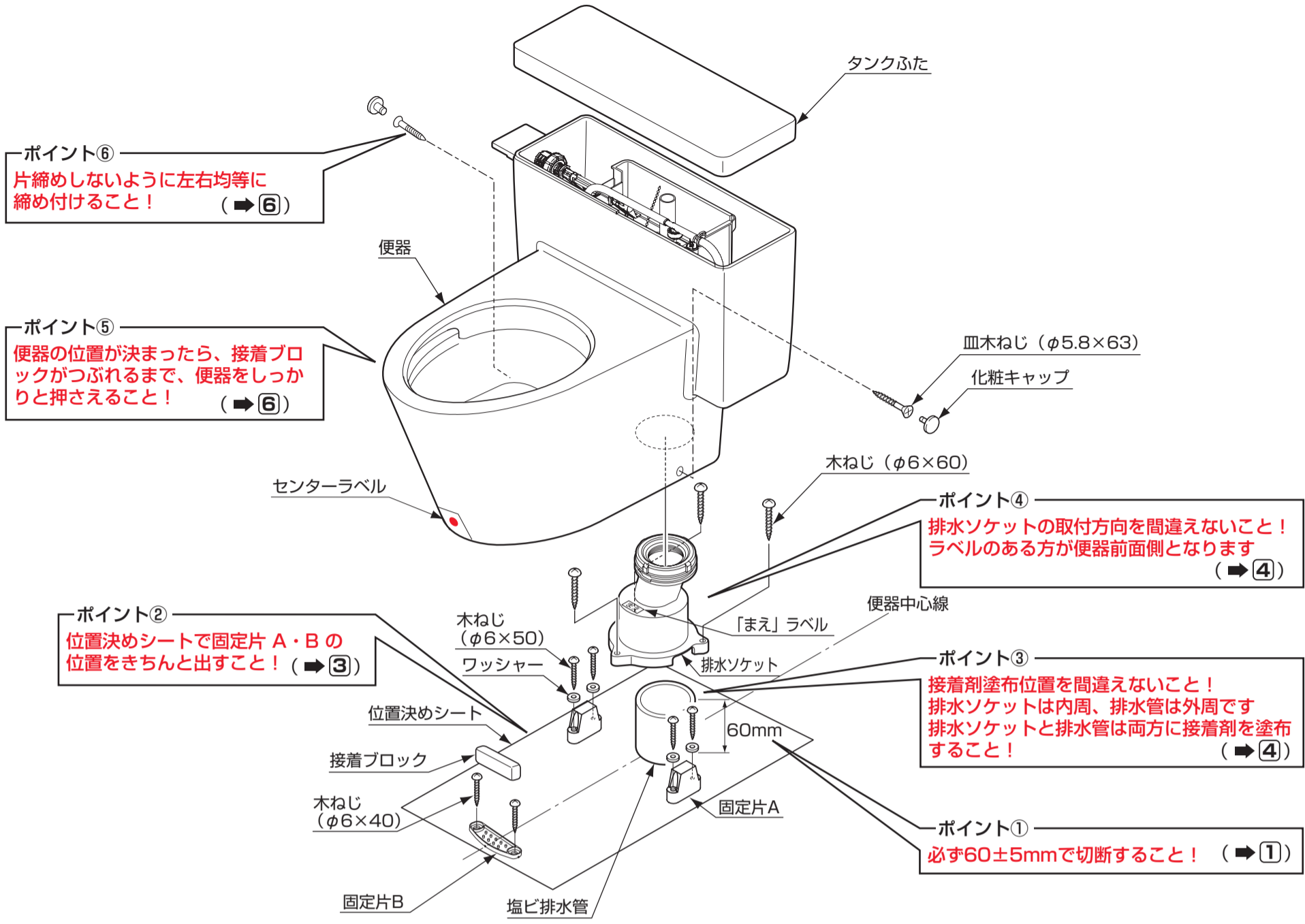
<左壁給水の場合>

<左床給水の場合>



※器具を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

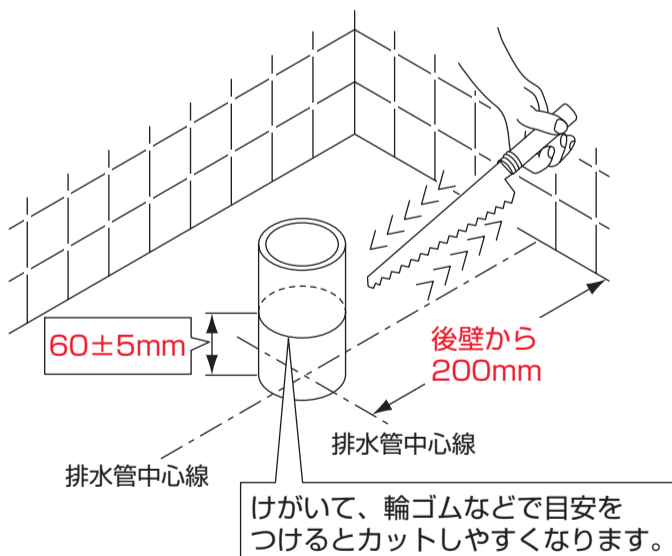
各部のなまえと施工のポイント



取付方法

① 排水管の取り出し

- 塩ビ排水管 (VP, VU75、またはVP, VU100) を床面より60±5mmの高さで切断する。
- 排水管の中心を出して、床面に排水管中心線をけがく。



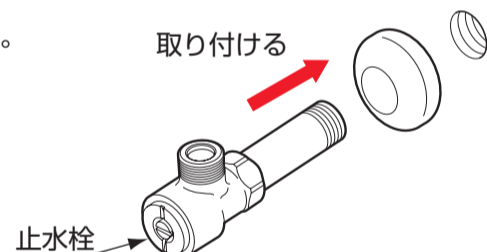
⚠️ 注意

排水管の切断面にバリ・汚れがないことを必ず確認する
切断面にバリ・汚れが残っていると、排水ソケットとの接続が不十分となり水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行
排水管の立ち上げ寸法を必ず確認する
65mmを超えると、排水ソケットが浮き上がり、便器が固定できなったり、排水ソケットとの接着が不十分になり水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがありますので、やり直してください。
55mm未満の場合は、補修用アダプターHH01001R (オプション) を使用してください。

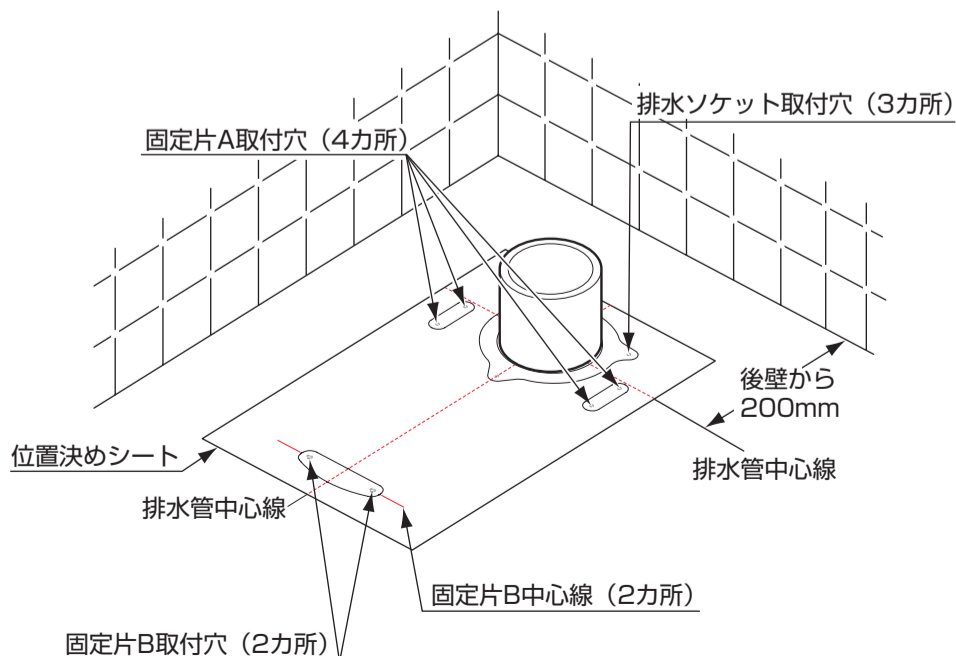
② 止水栓の取り付け

止水栓を所定の位置に取り付ける。
※「取り付け前のご注意」の止水栓の取り付け方向を確認ください。



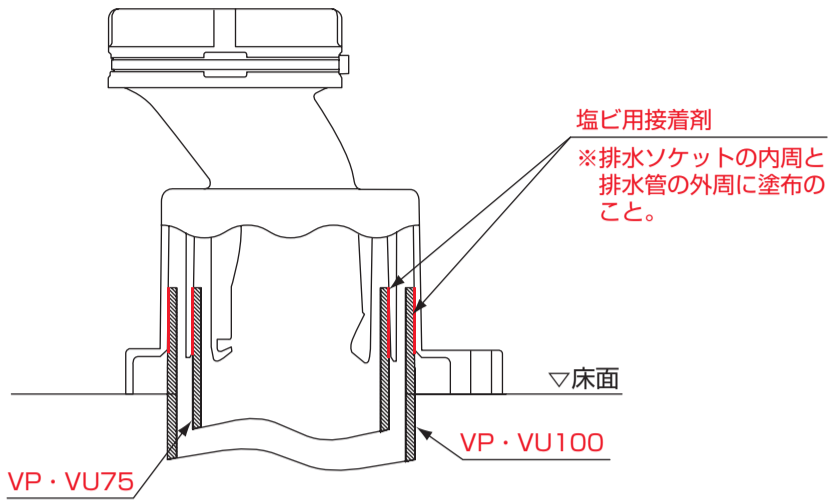
③ 位置決めシートにて取付穴位置をけがく

- 位置決めシート開口部を排水管に差し込み、床面にけがいた排水管中心線に合わせて床面に置く。
 - 排水ソケットおよび固定片A・Bの取付穴位置、固定片B中心線をけがく。
 - 位置決めシートを外す。
- ※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



4 排水ソケットの接着

- 排水ソケットの前後を確認する。
ラベルが貼られている方が前になります。
- 排水ソケットと排水管の接着部に塩ビ用接着剤を塗り、排水ソケット下面が床面につくまで、排水ソケットを押し込む。
※そのとき、けがいた穴の位置、中心線に合わせて置いてください。



- ※排水管の切断面のバリ、汚れは必ず除去してください。
- ※一度接着すると、手直しができませんのでご注意ください。

注意

- 必ず実行**
- 接着剤は必ず、排水ソケットと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
また、臭気漏れの原因となります。
 - 排水ソケットは下面が床面にあたるまで押し込む
押し込まない場合、排水ソケットの固定時に破損するおそれがあります。

接着材塗布位置

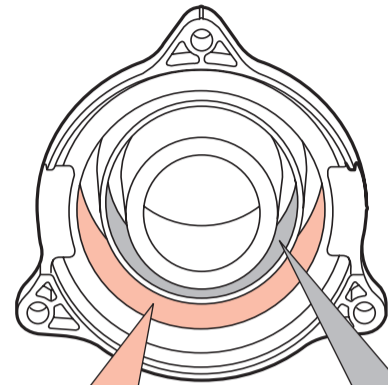
注意



必ず実行

接着剤塗布位置を確認する

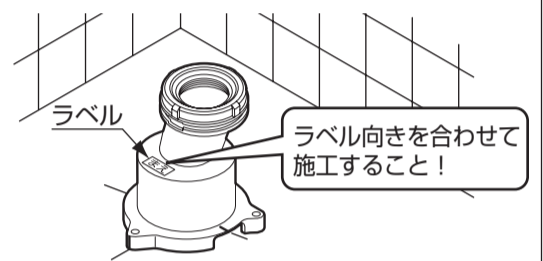
排水管の種類によって異なりますのでご注意ください。また接着剤塗布面は、排水ソケット内周、排水管外周となります。間違えますと水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。



VP・VU100

VP・VU75

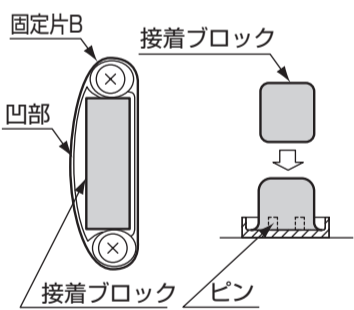
- ※排水ソケットはラベルの面を前に取り付けてください。
間違った方向に取り付けると便器の施工ができなくなります。



5 排水ソケットと固定片の取り付け

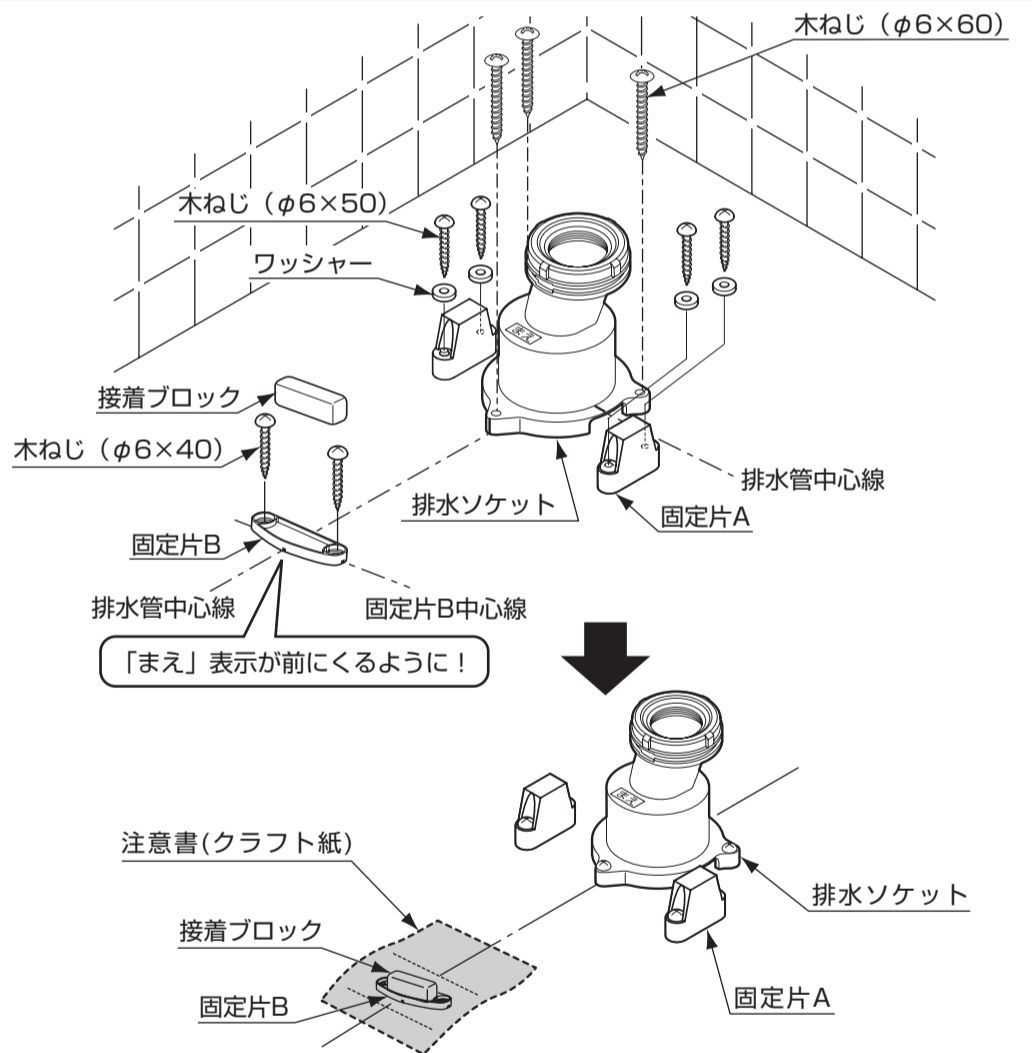
- 排水ソケットの取付穴（3カ所）に木ねじを入れ、排水管中心線に合わせて確実に締める。
- 固定片A・Bを所定の位置に、木ねじにて固定する。
※壁側は固定片A（2カ所）、前側は固定片B（1カ所）となります。
- 固定片Bは、図のように接着ブロックを固定片Bの凹部のピンに差し込み、その後指で軽く押す。
- 接着ブロックの上に付属の注意書（クラフト紙）をかぶせる。
※印字のないツルツルの面を下向きにしてください。

<接着ブロックについて>



- ※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を左図のように整えてください。
- ※接着ブロックの方向性は特にありません。
- ※気温が下がると接着ブロックが固くなる場合がありますので、このときは、20～30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。

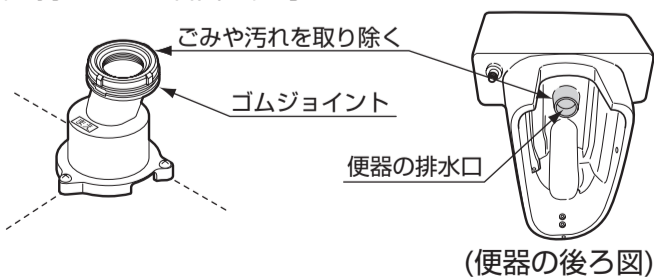
※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照ください。



6 便器の取り付け

手順1

- 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水ソケットに差し込む。
※便器の持ちかたは右図を参考にしてください。



- センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。
- 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。
- 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえる。
- センターラベルをはがす。



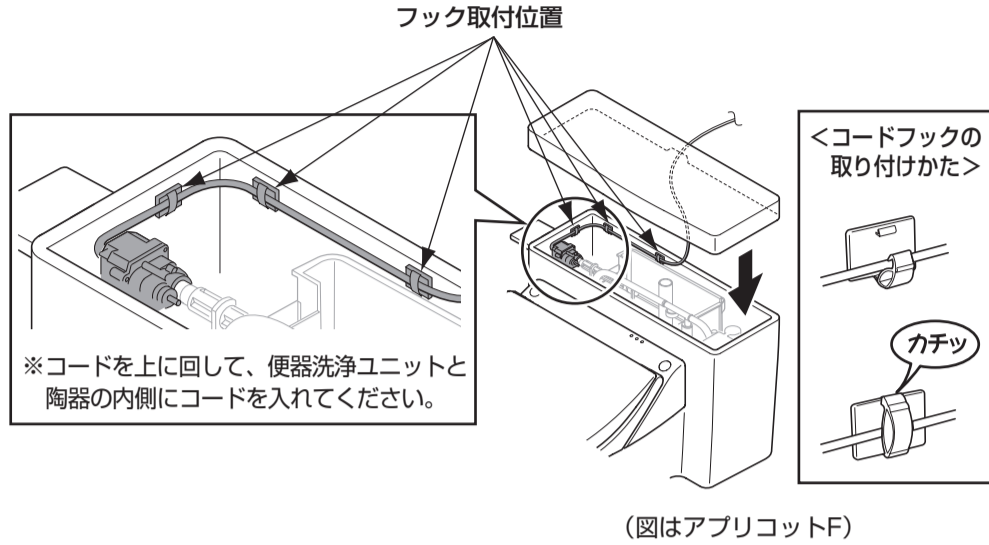
手順2

- 便器側面の取付穴に皿木ねじをねじ込み、ねじの頭に化粧キャップを差し込む。
左右均等に締め、最後の増し締めは手締めにて行い、便器を割らないように注意してください。



7 コードフックの取り付けとコードの配線

- ①コードフックを貼り付ける。
※水滴をふき取り、付属のサンドペーパーでこすり、水につかない位置に貼り付けてください。
- ②コードはふたの切り欠き部とタンクの下側を通して配線する。
※コードをふたでつぶさないようにしてください。



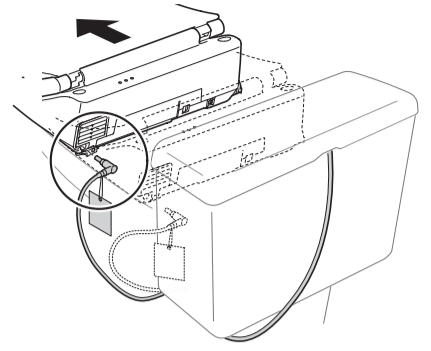
(図はアプリコットF)

<タンク内側>

- 注意**
タンク内側のコードが同梱部品に引っ掛からないように、コードフックを使って配線してください。
コードが同梱部品に引っ掛かると、止水不良の原因となるおそれがあります。

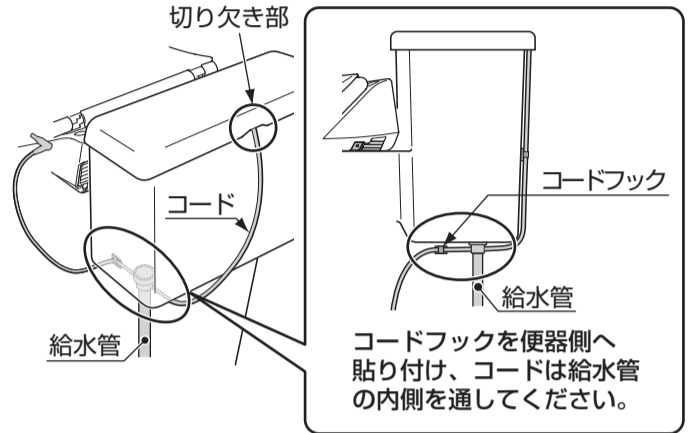
<タンク外側>

- 注意**
タンク外側のコードはウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。



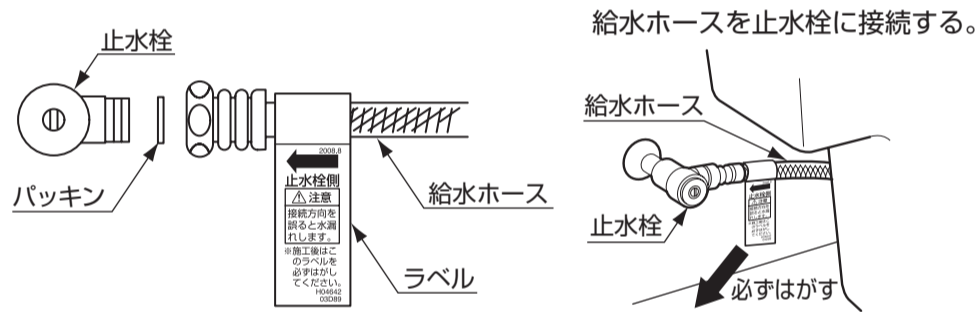
<タンク外側>

- 注意**
タンク外側のコードはウォシュレットの着脱ができる余裕を設けてください。



8 給水ホースの取り付け (普通便座の場合)

- ・給水ホースにねじれ、折れなどのないよう接続する。
- ・パッキンを下図の位置に必ず組み込む。



- ※ラベルは給水ホースを取り付けたあとに必ずはがしてください。
※ウォシュレットの取り付けに関しては、ウォシュレット付属の施工説明書をご覧ください。

9 止水位の確認

ウォーターライン (WL) に止水位が合っているかを確認する。
(右図参照)

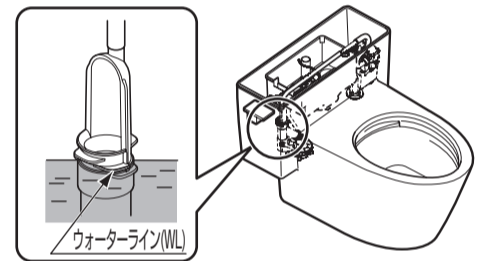
- ※ウォーターライン(WL)は、
下から2番目です。

合っていない場合は、
プラスドライバーで浮玉用タンクの高さを調整して、止水位を調整してください。

右回し・・・浮玉用タンクが上がり、
止水位が上がります。

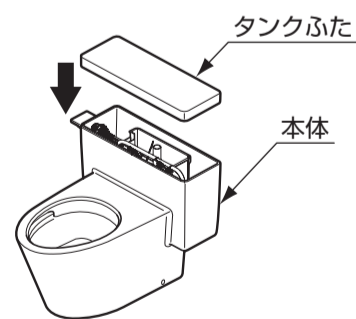
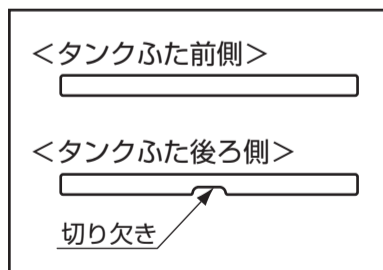
左回し・・・浮玉用タンクが下がり、
止水位下がります。

- ※1回転で約3mm上下します。



10 タンクふたの取り付け

- タンクふたを取り付ける。
※前後方向に注意してください。
(中央部に切り欠きがある方が後ろになります)



取り付け後の確認

- ・試運転 (洗浄) 後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷などがいないことを確認してください。
陶器表面に金属類 (時計のバンド、ベルトのバックルなど) が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
スジ状の跡が付いた場合は、研磨剤入りの洗剤などで軽くこすって除去してください。
- ・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ (コーキング剤、配管用接着剤など) の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤 (研磨剤なし) を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング (木質系) を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング (木質系) を使用される場合は、便器裾下部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーリング剤を塗布することをおすすめします。

